

発行所

株式会社 FPシミュレーション

大阪市中央区平野町3-1-10 Tel:06-209-7678

編集発行人: 税理士 三輪 厚二 Fax:06-209-8145

発砲酒が安いのは税金が安いから!!

Q: 最近テレビで発砲酒のCMを多く見かけます。ビールと口当りは変わらないのに値段が安いのは、税金が違うからだと聞きました。どう違うのですか。

A: 発砲酒の値段が安いのは、企業努力もあるでしょうが、税率も普通のビールとは違うのも大きく影響しています。

発砲酒に対する課税は、現行制度上、麦芽比率67%以上のものに対しては350ml缶当り77.7円、25%以上67%未満のものに対しては53.44円、25%未満のものに対しては29.15円となっています。

発砲酒の中には、ほぼビールと変わらない麦芽比率が65%のような発砲酒もあり、低い税率の適用を受けています。

そこで政府は、税負担の適正化を図るため、8年度税制改正では、麦芽比率50%以上のものは77.7円とする旨が盛り込まれています。

また、25%未満の発砲酒の税率は36.75円とされるに止められ、税率アップの時期を夏を外した「8年10月1日」以降にするなど、世論を配慮した施策を講じています。

新たな商品開発により、麦芽割合の見直しもこれから随時でくるでしょうが、我々消費者にとっては、安くてうまいのがなによりというのが本音ですね。

